

平成 25 年度年次総会議事録

平成 26 年 7 月 9 日

小瀬スポーツ公園会議室

○出席者（順不同・敬称略）

厚芝（6）、雨宮（6）、柴田（7）、入倉（8）、丸山（9）、中山（10）、上松（13）、
稲葉（10）、小俣（11）、佐野（8）、萩原（10）、三井（10）、山崎（12）、加藤（13）、
矢島（2）、和田（8） 計 16 名（）内所属期

○議事内容

1. はじめの言葉（8 期 佐野副塾頭）
2. 塾頭挨拶（8 期 入倉塾頭）
3. 議長選出（事務局より 6 期雨宮さん推薦 → 承認）
4. 議題

①平成 25 年度事業報告

■総括について（8 期 入倉塾頭）

- ・13 期生の活動としては、…14 名という少ない… → 15 名に修正。
- ・平成 26 年度の活動方針にある「先輩塾生の協力を得て」とある部分については、14 期生がということに限定されず、夢甲斐塾全体でという解釈。
- ・平成 25 年度で至らなかった点についての改善案を出す場としては、今後の運営会議の場でおこなう。
- ・最後から 2 行目 「自習自得」 → 「自修自得」に修正。

■入塾生推移、組織及び運営、活動報告について（7 期 柴田事務局長）

- ・入塾推移の中で 14 期生については 15 名が入塾予定。

□出席者の拍手を持って承認。

②③平成 25 年度会計報告・監査報告

■決算内訳（6 期 厚芝会計補佐）

- ・塾生会費予算額は前年度総会時点では一人当たり 12,000 円で計上しており、その後一人 10,000 円となったことにより決算額と大きくずれている。
- ・予備費で使用された同期会補助は、9 期と 10 期で利用しそれぞれ 5,000 円補助している。

- ・一部、備考欄で切れている部分を補足。
- ・周年事業積立金については、別途財産目録のような形で積立金の総額がわかるような形にしたほうが良い。

■会計監査報告（7期 柴田事務局長）

- ・署名欄の役職「監事」→「監査」に修正

出席者の挙手により合わせて承認

④次期事務局体制（7期 柴田事務局長）

- ・規約で定められている塾頭、副塾頭、会計、監査については再任し、事務局長には10期の萩原さんが新任。
- ・各期連絡係については、体制強化のため一部変更（3、5、12期）するとともに13期を追加。
- ・次期募集委員会について新たに全体の体制に加え、体制図の事務局長の下に追加（広報・HPのとなり※7とする。）
- ・情報管理の観点から平成25年度は連絡係が機能していないように感じられた部分があったが、その点については事務局メンバーが補う形で進めていく。

出席者の挙手により承認

⑤次期事業計画および予算案

■平成26年度活動計画（10期 萩原次期事務局長）

- ・7月の欄の一番上に「9日（水）平成25年度総会」を追加。
- ・11月の市民フェスタへ「15日（土）16日（日）」を追加。
- ・6月最後の「27年度総会準備」→「平成26年度総会準備」に修正。

出席者の拍手により承認

■平成26年度（14期）予算案（6期 厚芝会計補佐）

- ・収入の部で塾生会費収入の想定人数が昨年度よりも多いのは、出発する13期生を考慮したことと、昨年度連絡係で会費未納入の人が多数いるため、今年度はこの部分を改善していく。
- ・参加表明リストやホームページにかかる費用についてこれまで計上してい

ないが、今後内容を充実したりしていくために予算措置していくかについては、今年度の運営会議での議題としたい。

- ・教材費が14期生を13人で計算しているため、実際に15名入塾の場合には予備費から教材費へ費目間移動させる。
- ・募集活動費について昨年度までは広告宣伝費としていたが、実際の用途に合わせてわかりやすい名目に変更した。
- ・昨年度まであった「例会講師謝礼」「慶弔費」「県内イベント参加費」については、実績がないため予備費としてまとめて計上。

出席者の挙手により承認

⑥規約及び規約細則について（10期 萩原次期事務局長）

- ・規約については変更なし。細則について暦年に関する部分について新年度の内容に合わせて変更。

細則の変更については事務局に一任されるため報告事項

⑦その他

- ・塾生の呼称については、OB塾生と研修生・現役生という言葉は使わず、先輩塾生と14期生という呼称を用いる。

「自修自得、万事研修」という方針にあるとおり塾生全員が常に研修をおこなっている身であり、出発しても現役として活動をおこなうため。

- ・「自修自得」という方針について、何もない状態ではやはり難しい。どこまでを自分たちで学ばせて、どこまでを事務局、先輩塾生から情報やツールとして伝えていくかが大事になると思われる。

この点については14期生担当でカリキュラムを決める中で考えていきたい。

- ・次期募集員会については、出発してから時間が経ってから担当を決めると熱が下がってしまうという意見を受け、13期生では出発前に決めてもらった。合わせて1つの期だけでなく複数の期で役割を担うようなことも今後の運営会議の場で議題にあげていきたい。

- ・各期どうしの繋がりを持つために塾生名簿が配布されるといいという意見については、現時点で公開可能な名簿が整理されておらず、10周年事業で名簿を作成した後の11期以降の確認が取れていない。
この点については絆を深めるという塾全体の問題と合わせて今後検討していきたい。
- ・慶弔規定については以前話しがあったがどうなっているかという質問に対し、事務局で原案を作成し検討中であると回答。
- ・例会の名称について、「14期生例会」なのか「14期例会」なのか。また「14期〇月例会」、「14期〇月塾長例会」のような表現に統一した方がいいという意見があり、運営会議の中で確認する。

5. 連絡事項

- ・13期生出発式、14期生入塾式の確認
7/12（土）塾生は8：00集合 会場：差出磯大嶽山
- ・次回運営会議について
7/16（水）19：30 会場：花水木
- ・14期研修例会
7/23（水）19：30 会場：彩の広場
8/9（土）19：00 会場：やじま歯科医院
8/20（水）19：30 会場：花水木

6. 終わりの言葉（8期 和田さん）